

栃木言友会会報

交流会報告 No. 162

2016年5月1日

発行責任者：古川 元一

編集責任者：古川 元一

TEL:090-3138-1507

【目次】

表紙「第13回栃木言友会総会 集合写真」	古川 元一	P 1
巻頭言	K K	P 2
交流会報告	栃木言友会の皆さん	P 3~7
次回交流会案内	S S	P 8

栃木言友会は皆さんが自主的に主体的、

楽しく活動できるセルフ・ヘルプ・グループです

巻頭言

『吃音のあるこどもの子育てと支援 Nのきろく～』を読んで

著：A N S Y

K K

私は今まで成人の方が書かれた吃音の本は何冊か知っていますが、吃音のあるお子さんを育てている親御さんが書いた本は読んだことがありませんでした。そして皆さんもご存知のS先生の著書でもあり、手に取りました。お子さんの吃音の経過や親御さんご自身の思い、受けられた指導や支援についてとても詳細に書かれていることに驚きました。

Nくんは週1回KRに通い、家では毎日お母様と一緒に力を抜いて話す練習などをしていました。この本は宿題として出されていた「ことばの記録」を中心にまとめられており、毎日のことばの状態（0：全くどもっていない～6：話すたびにどもる）やよく見られるどもり方、気づいたこと（どんな場面なら楽に話せるかなど）、話しことば以外の面で「良かった」ところが書かれています。またそれだけではなく、お母様は一生懸命練習をしていると「何でももるのよ！」という気持ちも出てきて「事実を事実のままに記録する用紙」から「事実はもちろん、私の想い・悩み・イライラも全部吐き出しちゃう用紙」に使い方を換え、心の中を整理しながらNくんの吃音に向き合っていました。読みながら何度も心配したり嬉しくなったりと感情移入しました。

そして、この本の中でST（言語聴覚士）のS先生とお母様のメールのやりとりも記載されていますが、親御さんの不安な面をSTが丁寧にフォローしています。吃音のあるお子さんと向き合うには親御さんの精神的な面の配慮が特に必要だと感じました。親御さんが吃音のあるお子さんを受け入れていくことで、お子さんの精神的な安定が図れて吃音の症状の軽減に繋がるのだろうと感じました。

また、お母様がS先生にお願いされてKRの学生さんにお子さんの吃音についての体験を話すという内容があります。その中で、お母様が「吃音のことをオープンに？堂々と？話をしたり、他の人の話を聞く機会がなかったので、自分の想いを話せて、同じ立場の人の話も聞けて幸せだった」とか「私ひとりが悩んでいるかのように思っていたけれど、仲間がいることがわかってホッとした。やっぱり保護者も声をあげようよ！と思った」と書かれています。言友会のつどいも同じ悩みを抱える仲間が集まり、悩みを共有できる素晴らしい場なので、多くの方々に知っていただきたいと思いました。

皆さんもぜひ一度読んでみてください！

抜粋：『吃音のあるこどもの子育てと支援 Nのきろく～』

著：A N S Y G社

交流会報告

日時：平成 28 年 4 月 24 日（日）

場所：とちぎ福祉プラザ 4 階 403 会議室

交流会・総会進行：古川

エンカウンターゲーム：古川

参加者：TD、NR（初参加）、FK、T、古川、F、S、N

（敬称略）計 8 名

1. 近況報告 3 分間スピーチ（入学・入社時の思い出は？）

TD：4 月より町会の役員になり、初めて会う人達であり、顔合わせ会があり、自己紹介もなんとなくこなせ、交流を深める事もできました。女房が喘息で入院してしまい、総会には出席できないとの手紙を出したのですが、退院したので出席しました。

NR：今回から参加をすることになりました。K 市に住んでいます。K はおそばが美味しいので、皆さんよければ行ってみて下さい。

生まれは A 県で、大学は I 県でその流れで就職してこちらに来て 3 年目です。

仕事は設計の仕事ですが、まだまだ未熟で学ぶ事が多いです。

FK：S 県から来ました。

途中の S A で TD さんにお会いして驚きました。少しお話してから来ました。

4 月 10 日に J のつどいに参加しました。T にお住まいの方が多くのかとと思っていたら T B、I、S など遠方から来ている方もいました。

4 月の会報に掲載されていた M 新聞の「T の障害」で吃音体験の取材を受けた方にも偶然お会い出来ました。とても前向きに頑張っているお話しなど、沢山の方と交流できて良かったです。

入学、入社時の思い出は、自己紹介が辛いと思っていた事です。

普通なら自分の事をよく知ってもらうための自己紹介ですが、私は知られないように、とにかく吃らないように頑張っていました。もっと外に目を向けていたら学校生活も楽しかったんだろうなと今更ながら思います。

古川：栃木市から来ました、古川元一です。

皆様にご迷惑をおかけしました、自分の右足ですが、4 月 18 日診察の結果、良い方向に向いている、と医師より話がありました。今月まで様子を見て痛みや腫れが無い場合は再度の受診は不要ですと診断があり、ほっとしております。

徒歩で通勤途中に、小学校の集団登校の集合場所に今年入学した児童と保護者がおり、新学期が始まったことを実感しております。

今年も確定申告に行き 8 万円戻ってくることになりました。企業年金事務所と確定

年金事務所に厚生年金事務所から来た書類と源泉徴収書を持参して会場に行き、待ち時間が30分ほどと手続きは10分ほどで済みました。手間かかるという手続きをしない人もおりますが、この様な制度があるのだから活用した方が良いと思います。

入学・入社時の思い出です。昭和48年3月、F県A市の高校を卒業して今の勤務先に就職が決まり、入社式の前日に移動する時のことです。入社式は3月21日。前日の20日にA駅からK駅までのBS線はほぼ時刻通りに電車が運転していましたが、K駅からU駅方面はSのRDの影響でまともに電車が動いてなく、K駅何時発の電車に乗車してくださいと連絡がなく、その代わりにK駅11時から12時の電車に勤務先のマークが入った旗を社員が持って提示しておりますので、その電車に乗車してください、と話がありました。当時同郷から数人で移動しておりましたので、勤務先のマークの旗が提示してある電車が入ってきた時、みんなで走ってその車両に乗って就職先に移動した思い出があります。

T：最近は自分の時間が少ないです。

先週は妻が1週間里帰りしていましたので、2人の子供の朝、夕食の準備、洗濯物の管理、長男を5キロ位離れた駅までの送迎と結構忙しかったです。

今日も妻が交通事故の後遺症か、体調がすぐれず日曜もやっている宇都宮の病院まで2台の車に分乗して、一緒に診察の結果などを聞き、終わるとこちらに向かいました。今年少し力を入れたい野菜作りの、茄子胡瓜トマト葱の苗植えは終わり、その後除草剤、殺虫剤を散布しました。後は種から育てる、落花生枝豆人参大根レタスハーブなどはこれからです。

私の職場は毎年だれかが異動になります。今年は4回目の一緒になる人が来ました。

入学式、入社式の思い出は、小学校の入学式が唯一楽しかった思い出です。制服も母の妹の叔母が贈ってくれた、白襟付きのおしゃれなものを着て記念写真に収まりました。当時叔母はKに勤めていて、双眼鏡や姉にはダッコちゃんという当時はやっていた人形などをプレゼントしてくれました。そして私が吃音になる前でした。

F：入学の思い出です。節目節目はよく覚えています。中学で入学式の入場の時、体育館の外で大勢で入場を待っていました。私はA組で50音順で先頭の方で140人居る同級生の3番目の入場で緊張してしまいましたが、制服のデザインが良い学校だったので、忘れられない思い出です。

S：皆さん、今日は。お久しぶりです。今、来られた方には初めまして。

O市から来ましたSです。3月31日に、開業6日目のS新幹線に乗って、帰って来ました。乗り心地もよく、時間も短縮されてよかったです。

それまでは、Sの息子の所に居ました。

4月の初旬には、Tに花見に行き、兄の家に泊まった次の日に、A演芸場で寄席の初体験をしました。11時30分開演でその時はガラガラの自由席だったので、真ん中に近い、前から2番目の通路側にすわりました。

落語は前座から真打ちまでいろいろな人のいろいろな話を聞き、女流講談、女流純切り、漫談やバイオリンで奏でる母音の漫談や音楽漫才を鑑賞し、途中3時前に退席しました。その時は満席でした。

入学の思い出は、小学校の入学では、母といっしょに木造校舎の板壁に貼られた自分の名前を探したことを覚えています。その時、母は着物でした。

また、大学入学の時には、父といっしょに校門をくぐった後、いろいろなサークルの案内やら勧誘があり、父といっしょにI部をのぞいた思い出があります。父はIの名人でした。

N：しばらくぶりに参加しました。

4月に花見に行きました。F県のH山で、T県のNよりも暖かくて、ボケ、桜、レンギョウなどが咲いていました。養蚕が廃れて、桑畑に花を植えたそうです。N町のAという所の城の跡、城址公園でI城という所がありますが、水芭蕉の花がありました。S市はカタクリの群生地がありました。

入学、入社は50年前ですね。入社式はなかったです。初入社はTの病院で5月1日のメーデーの日に戻ってきてから、新社員歓迎会があって、看護師さんが綺麗だなと思って見ていたり、酒を飲んでつぶれてしまったり、ほろ苦い思い出です。

4. 感 想

N：久しぶりに会えた人が居て良かったです。栃木言友会が13年、続いていることに感銘を受けています。最近の出席者数を見ると少しさびしいなと思っていましたが、せめて今日居る人数の会であって欲しいです。

古川：本日の交流会と第13回栃木言友会総会に参加してくださりありがとうございます。副会長にYHさんとHKさんに入って頂き、新体制での栃木言友会活動をしていきますので、宜しくお願いします。

また昨年度の活動報告や会計報告も承認してくださりありがとうございます。

平成29年5月には栃木言友会主催の言友会関東ブロック大会があります。

会場候補や内容等も少し話をさせて頂きましたが、来月からの交流会でも時間を作り内容を煮詰めていきたいです。本日も県外からS県のTさん、Fさん遠方よりの参加ありがとうございます。

また初参加のNRさん、早速栃木言友会に入会してくださり感謝しております。さらに栃木言友会運営委員にも快く引き受けてくださりありがとうございます。古川は引き続き会長をさせていただきますので、今まで通りご支援とご協力宜しくお願いします。

NR：初めて来ましたが、和気藹々としていたと思いました。今日、筆記用具を持って来なかったもので、今度は持って来たいです。若い人が多くないなと思ったので、声をかけていきたいと思います。

T：13回目の総会お疲れ様でした。

これほど続くとはスゴイです。古川会長、会計のFさんもまとめるのに時間がかかったそうです。私も地域で43戸の会計や総代（地域の代表）などをし、今年もこれから2年間公民館長などをしますが、短期間ならまだしも13年間とはスゴイの一言です。

私も微力ながら何かお手伝いできればと思います。

8名の参加者、NRさんという若い方も見えられ良かったです。

S：今日は有難うございました。連想ゲームの楽しさと、元一さんの解説が良かったです。昨年は、総会と自分の担当月しか参加できませんでしたが、今年はそれ以外も出席できるようにしたいと思っています。

SZさんが吃音の問題がなくなったから退会ということで、喜ぶべきことかもしれないけど、少しさびしい気がしてしまいましたが、新しくまた若いNRさんが参加してくださって、楽しかったです。

TD：連想ゲームは日頃から本を読んだり、旅行などもよく行ったので、すべての人の言ったことが連想できました。

ひさしぶりの交流会でしたので、楽しく過ごさせて頂きました。

FK：総会、お世話になりました。今年度も引き続きよろしくお願い致します。

関東ブロック大会の会場予定「R村」のパンフレットを頂きました。

広い敷地の中に色々なエリアがあって温泉、市場やお食事など、充実した時間を過ごせそうな場所で今からとても楽しみにしています。

エンカウンターゲーム「連想ゲーム」は春→秋→と沢山の言葉が続きました。私は、ぱっと言葉がひらめかないのが残念でした。

吃音にも頭の回転にもとても良いのでまた行ってほしいです。

今日はお世話になりありがとうございました。

F：連想ゲームをすると家で夫から聞いた時、Nで昔放送されていた番組を思い出してしまいました。単語から連想される言葉を話すことは、普段の会話でも話を膨らませるきっかけになると思いました。

総会があり、収支報告をしましたが、計算を終えるのに毎年3日間かかり一番負担ですが、今年度も管理したいと思います。

11月交流会を「Mの駅 U R村」で行う事になりました。

宿泊、日帰りどちらでもかまいませんので、今日ここに来ている方、是非参加の検討をお願いします。今日、来られていない人にも声をかけたいと思います。

次回交流会は5月29日(日) 14時00分より交流会を開催します 会場はとちぎ福祉プラザ4階403会議室です

今月の交流会担当はTさんです。ご期待ください。

5月の交流会は第5日曜日の29日です。お間違えないようお願い致します。

近況、交流会内容、感想も当日、またはメール(郵送)で、交流会終了後、3日以内に頂けるようご協力よろしくお願ひします。

栃木言友会会費納入先、お近くの郵便局から

郵便局口座番号 00190-1-760304 **口座名称 栃木言友会**

会費納入 会員：G、NZ、N、O、S、FK、NR、HG

購読会員：K、KT、KM、TD、HR (敬称略 納入順)

御寄付を頂きました。GFさん 8,000円 SSさん 4,000円

NRさん 2,000円 ありがとうございました。

6月26日(第4日曜日・201会議室) 7月17日(第3日曜日・特別会議室)

次回交流会のお知らせ

日時・開催場所：5月29日(日) とちぎ福祉プラザ 2階201会議室

14時00分～16時30分 栃木言友会交流会

〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 TEL028-621-2940

1階の案内は栃木言友会交流会になっています

交流会内容：近況報告 「ゴールデンウィークの思い出は？」

交流会1：「吃音改善研究会」 担当：T

交流会2：「昨年度1年の感想、今年度取り組みたい事」 担当：T

連絡先 〒329-4425 栃木県栃木市大平町新 1385-33 古川元一

携帯 090-3138-1507 E-mail: genyut@mocha.ocn.ne.jp

栃木言友会ホームページ <http://tochigi.sakkt.net/index.html>